

今年もポリコムアツプの創刊16周年特大号!!

ライトニング

Lightning

2010 Vol.193 5月号 特別定価 ¥880

**変わらないモノを
追いつけて16年。**

周年記念号がまたまたやってきた。今年が16周年。普通はそんな中途半端な記念は忘れちゃう。でも周年記念特大号の始まりは12周年だった。始まりも中途半端である。物事には思いつきも大切なのかもれない。というわけで今年もたっぷりのポリコムで大好きなモノを追いかける。



流行を追うのも大事だけれど、いつまでも愛せるモノを追うことがライトニング流。そんな観点で選ばれたモノたちは旧きよきアメリカンプロダクツが多い。アメリカンカルチャーのパワーはこんな時代でも色褪せない。気がつけば身のまわりには昔ながらのアメリカン・プロダクツばかり。これこそ永遠のスタンダード。



**結局、アメリカン・
カルチャーが好き。**

物欲を満たせ。

16周年
特大号

**使い込むことで、
本物になっていく。**

デニムやレザーなど、使い込むことでその味わいを楽しめるアイテムから、モノを育てるという喜びを知る。手に入れただけでは未完成。ガンガン使い続けることで完成へと向かう道のりが、男の物欲をくすぐらないはずがない。



TRY AMERICA

ロサンゼルスから発信される
夢のコラボレーション。



MSFC Chino Rider

チノクロスを用いた1940年代のトラウザーシルエット。アングル部分にバックポケットを備える。サイドのバックルストラップが特徴的。2万790円



MSFC Midnight Rider

10オンスのミッドナイトデニム。縦にインディゴ、横にブラックの糸を使用した生地で、穿き込むと全く異なる表情を見せる。ワンウォッシュ2万6040円。ハードウォッシュ3万6540円

MSFC SPEED-SAFE CLOTHING FOR MODERN RIDERS

“MFSC”とは、ヴィンテージウェアが持つ魅力を最大限に発揮するショップ“Mister Freedom”のクリストフ・ルアロンと、長年培ってきた物作りの技術で常に新しい可能性に挑戦し続けるブランド“Sugar Cane”とのコラボレーションシリーズ。今回のテーマとなっているのは1930年代から'60年代にかけて生み出された実用性と機能美を併せ持つライディングウェア。夢のコラボの2010 SPRINGコレクションをいち早くお届けする。

text/A.Takeuchi 竹内淳 photo/Y.Nomoto 野本裕司
問い合わせ/東洋エンタープライズ
TEL03-3632-2321 www.toyo-enterprise.co.jp



**MSFC
Breezer Jacket RAYON/COTTON**

前後に備える計3つのパッチポケット、ダイヤモンド型のエルボーパッチが特徴的。レーヨンコットンの生地は着用によって風合いを増す。ワンウォッシュ2万9400円。ハードウォッシュ3万3600円



**MSFC
Midnight Jacket DENIM**

1940年代のサマーフライトジャケットのシルエット。前タテや襟ウラにデットストックのチェック生地を使用。ワンウォッシュ2万9400円。ハードウォッシュ3万3600円



MSFC Mechanic Shirt

裾で大きく重なるベティフラップをはじめ独特のパターンを三本針の巻き縫いで縫製。ボタンはメタルに同色のペイントを施したもの。各1万7640円



**MSFC Breezer Jacket
RAYON/COTTON w/Patch**

レーヨンコットンのブリーザージャケットに、ピストンとコンロッドをモチーフにしたモーターサイクルクラブ風の刺しゅうパッチをプラス。3万3600円



**MSFC
S/S CLUB SHIRT "HELMET"**

革巻きのヘルメットをデザインモチーフにしたクラブシャツ。同じくライトウェイトの丸胴ボディにヒビ割れプリントを施す。各7245円



**MSFC S/S CLUB SHIRT
"ROCKET"**

自らもトライアングルを駆るクリストフ氏がソルトフラットレーサーをモチーフにデザイン。西海岸風のソフトタッチな丸胴ボディにヒビ割れプリント。各7245円



MSFC UNION TEE

1930年代のヨーロッパアンダーシャツ。ヘンリーネックにユニオンチケットがつく。丸胴で袖はアンダーアームガゼット。カラーも豊富。各8295円

CHRISTOPHE LOIRON

クリストフ・ルアロン：1966年、南フランス・モンペリエ生まれ。幼少をアフリカで過ごす。'90年に「スティーブ・マックイーン」「ポール・ニューマン」などのスターに憧れてアメリカに移住。セレブリティのスタイルにヴィンテージを取り入れるきっかけを作り出したセレクトショップ「アメリカンラグシー」のバイヤーを経て、'95年に独立。'02年にはヴィンテージストア兼スタジオ「MISTER FREEDOM」をハリウッドにオープンした。多くのファッションデザイナーや映画のスタイリストが彼のセクションを見るために訪れる。現在はデザイナーとしても活躍。www.misterfreedom.com



具現化した唯一無二の空間が広がる。



↓'70年代にノースピーチレザーのデザイナーだったロバート・ワーナーさん。この日着ていたのも'70年代の自分で作ったジャケット

ノースピーチの伝説をつくった男

Robert Warner Leather



↓本誌でもお馴染みのフラットヘッドも出店。ジーンズからブーツ、スカジャンまで幅広く展示。小林代表もポーズをキメてくれた



スカジャンで有名な富山のハヤブサが参戦。

↑富山のハヤブサ キャット クローザーも貴重なスカル柄などのスカジャンを展示。出村さんが手に持っているシャツは幻の……



スタッズベルトの男。

↑HTCのジップさんも出店。最近ではベルト以外にスティーブソン・オーバーオールズもかなり認知された様子だ



←恵比寿のヴィンテージショップ、スタンダード・カリフォルニアのブースにはオーナーの阿久戸さんが。オリジナル商品を展示



↑30周年を迎えた国産デニムの雄、スタジオ・ダルチザンも出店。藤川社長もブースに立ち、海外のバイヤーに対応していた

日本初のバッグや小物も注目を浴びていた!



(上) 原宿のリトルレアータの宮崎さんもデッドストックのヴィンテージを出品。(右) お馴染みのマスターピースのブースも注目を浴びていた



いつものとおり格好良くキメてくれた。

Mister Freedomのクリストフ・ルアロンさん。凝ったディスプレイの中にはバイクやミリタリーテイストが溢れる